

前号 (第十四卷第三・四号) 目次

論説

租税法上の所得概念の構成と税制改革論の世界的展開	吉川 弘人
電話の盗聴規制立法について	
— フランスの一九九一年法を中心として —	上村 貞美
フランス憲法院と組織法律	矢口 俊昭
法実証主義的自然権説について	高橋 正俊
いわゆる混合的包括一罪について	虫明 満
ナチ占領下のアルザス	渡辺 和行
地方公務員の不利益処分に対する再審請求と出訴期間の関係について	
— 鹿児島地方裁判所平成六年一月二八日判決を素材として —	村上 博
一九二〇年代ソヴィエト社会と青年組織	
— ネットプ期コムソモール組織の考察 —	松井 康浩
少年法と刑法との一接点	
— 「調布駅南口事件」 抗告審決定の拘束力解除をめぐる —	上田信太郎
法と論理・方法論	
— 論理の誤解を中心にした序説 — (一)	守屋 正通
オランダにおける終末期医療決定と刑法	
— 安楽死に関する判例法の展開とその周辺事情 — (一)	山下 邦也
高野・守屋教授略歴・主要著作目録	
雑報	